

平成 29 年 9 月 7 日

## (臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院泌尿器科に、腎集合管癌あるいは腎浸潤性尿路上皮癌で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学人体病理学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用させて頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

### 1. 研究課題名

腎集合管癌と腎浸潤性尿路上皮癌の鑑別におけるアクアポリン発現様式の有用性に関する後ろ向き観察研究

### 2. 研究責任者

和歌山県立医科大学人体病理学講座 講師 小島 史好

### 3. 研究の目的

腎集合管癌は除外診断的に診断され、他の腎癌や尿路上皮癌との鑑別がしばしば問題となっています。本研究では腎集合管癌を腎浸潤性尿路上皮癌と鑑別するために有用な新規抗体としてアクアポリン(AQP)に着目し、その鑑別における有用性を検討します。

### 4. 研究の概要

#### (1) 対象となる患者さん

腎集合管癌あるいは腎浸潤性尿路上皮癌の患者さんで、平成 13 年 1 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日までの期間中に、腎摘出術の治療を受けた方

#### (2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、上記 4. (1)に該当する患者さんの年齢、性別、摘出腎の左右の別、術後経過、切除した癌の肉眼写真および組織に関する情報です。

#### (3) 方法

和歌山県立医科大学を中央研究施設とし、日赤和歌山医療センター、京都第一赤十字病院、大阪大学医学部付属病院を共同研究施設とした多施設共同研究です。対象疾患を病理部門システムから抽出し、抽出した症例の臨床データを電子カルテから参照します。

### 5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報公表されることはありません。

### 6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

### 7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学人体病理学講座 担当医師 小島 史好

TEL:073-441-0635 FAX:073-444-5777

E-mail:fumiyosh@wakayama-med.ac.jp